



ここに生きる、 ミャンマー難民と 山岳民族の今日

大学生の人生を変えた、9日間の記録



期間

2026
1.26 Mon → 1.30 Fri
10:00～16:00

※1月26日は14:00開場、1月30日は13:00終了

場所

(公財)兵庫県国際交流協会
ひょうご国際プラザ交流ギャラリー
神戸市中央区臨浜海岸通1-5-1 国際健康開発センタービル2F
TEL.078-230-3267

入場
無料

体験型ワークショップ Hands-on Workshop

みんなで作る「WORLD CONNECT STUDIO 2025」
—五感で旅する、ミャンマーとタイのリアル—

“世界を見る”だけでなく、“世界を感じる”体験を。

ミャンマー難民キャンプや山岳民族の村で私たち学生が出会った“リアルな暮らし”を詰め込んだ、体感型スタジオをオープンします。学生ガイドと巡るミニツアーでは、国境越えの演出、現地の香り体験、共創アート、民族衣装での撮影、ミサンガづくりなど、見て・触れて・作って楽しめるコンテンツが満載！ぜひご体験ください。

日時 2026年1月27日㈭～29日㈯ 10:00～16:00 ※最終受付は15:30

場所 ひょうご国際プラザ 交流ギャラリー（南）

主催 立命館国際関係学部・研究科「Hay Hay Aungsan」

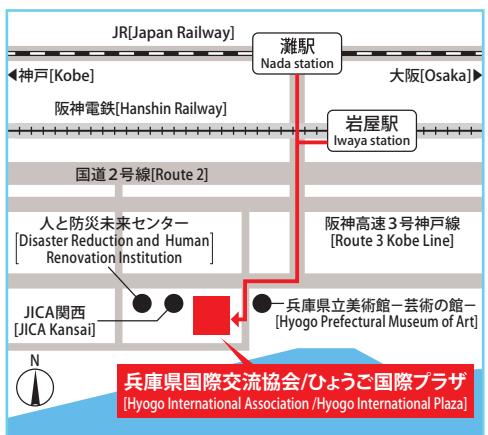
テレビやSNSでは取り上げられない世界があります。

タイ北西部の国境の街メーソット。そこには、紛争から逃れてきたミャンマー難民たちが暮らすキャンプがあります。さらに北のチェンマイ。緑深い山々に囲まれたその地には、山岳民族の村が点在しています。

一見穏やかなその村にも、故郷を追われたミャンマーの人々が身を寄せています。私たちはそこで、“ニュースでは語られない現実”と向き合いました。

難民キャンプの子どもたちの笑顔。山の村で、自然と共に暮らす人々の姿。そこには、それぞれの場所で懸命に“生きている”人間の物語でした。

本写真展では、立命館大学で国際関係学を学ぶ学生5名が、現地で撮影した約50点の写真をとおして人々のリアルな日常をご紹介します。



主催：特定非営利活動法人ミャンマーKOBE、立命館国際関係学部・研究科「Hay Hay Aungsan」

共催：(公財)兵庫県国際交流協会 後援：兵庫県／神戸市 協力：SAW (Social Action for Women) / アークどこでも本読み隊

問い合わせ先：(公財)兵庫県国際交流協会 企画広報課 TEL:078-230-3267 《受付 平日9:00～17:00》

リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。